

製品名: GAK ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11258**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	144kDa

抗原情報

遺伝子名	GAK
別名	GAK; Cyclin-G-associated kinase
遺伝子 ID	2580.0
SwissProt ID	O14976
免疫原	抗血清はヒト GAK 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

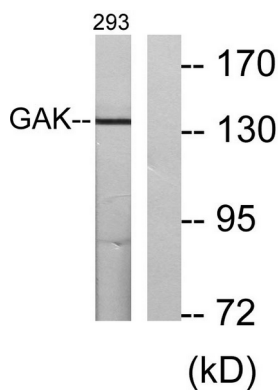
背景

サイクリン G 関連キナーゼ(GAK) ホモサピエンス すべての真核生物において、細胞周期はサイクリン依存性プロテインキナーゼ (CDK)によって制御されており、その活性はサイクリンおよび CDK 阻害剤により、セリン、スレオニンまたはチロシン残基のリン酸

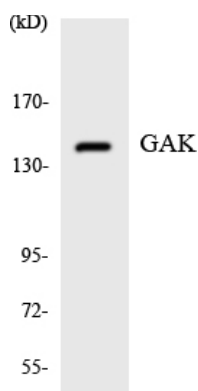
化と脱リン酸化の制御を含む多様なメカニズムで制御されている。サイクリンは、「サイクリンボックス」と呼ばれるコンセンサスドメインを持つ分子である。哺乳類細胞では9種のサイクリンが同定されており、サイクリンAからサイクリンIと呼ばれている。サイクリンGは、p53 腫瘍抑制遺伝子産物の直接の転写標的であるため、p53 の下流で機能する。GAKは、サイクリンGとCDK5の関連パートナーである。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生じる。 [RefSeq提供、2015年12月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。機能: サイクリンGおよびCDK5と関連しています。非神経細胞において、Hsc70によるクラスリン被覆小胞の脱被覆に関与するオーキシリン相同分子種として作用すると考えられます。発現は細胞周期中にわずかに振動し、G1でピークとなります。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。Ser/Thrタンパク質キナーゼファミリー。類似性: C2テンシン型ドメインを1つ含みます。類似性: Jドメインを1つ含みます。類似性: ホスファターゼテンシン型ドメインを1つ含みます。類似性: タンパク質キナーゼドメインを1つ含みます。細胞内局在: 核周縁部およびトランスゴルジ体ネットワークに局在します。細胞膜上にも見られ、おそらく接着斑に見られる。組織特異性: 普遍的。精巣で最も高い。、

研究分野

画像データ



GAK抗体を用いた293細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



GAK抗体を使用したHepG2細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



GAK ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析